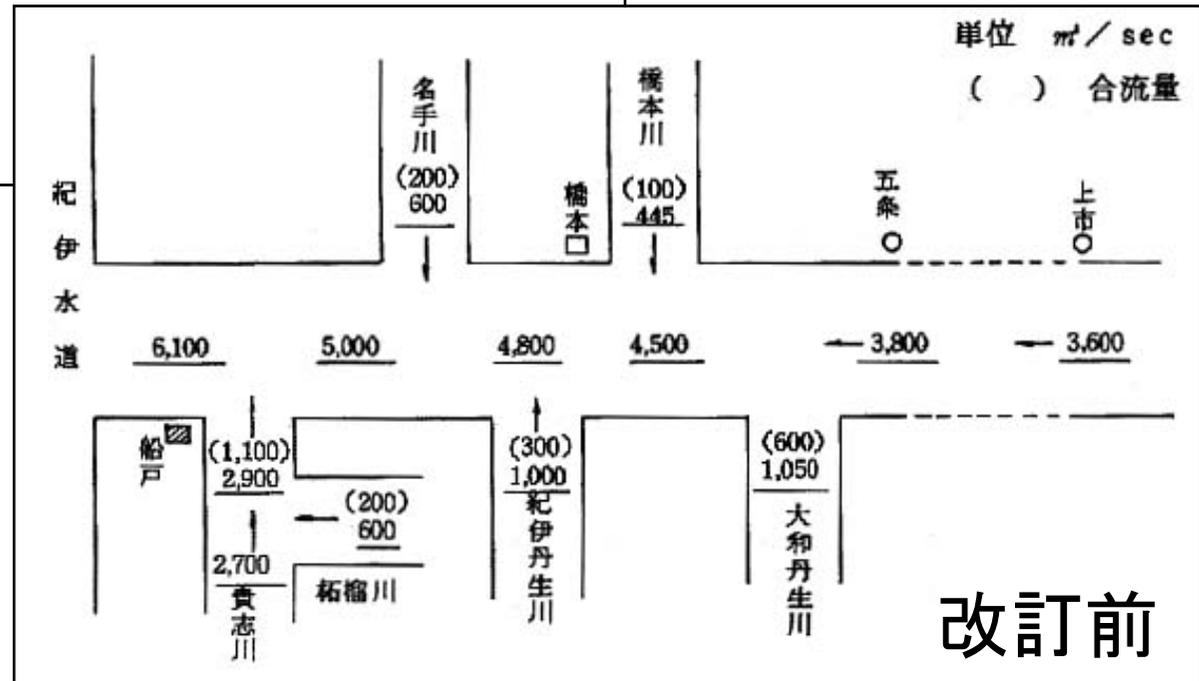
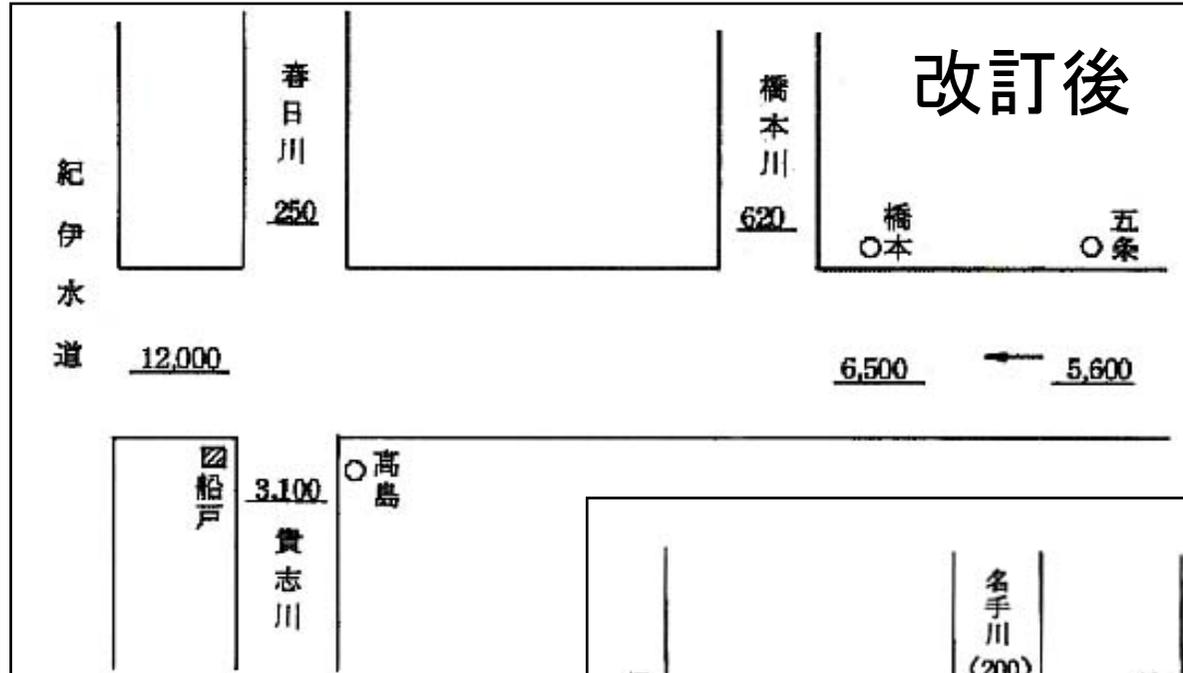


# 1－3 紀の川水系工事実施基本計画

(昭和40年策定及び昭和49年改訂)

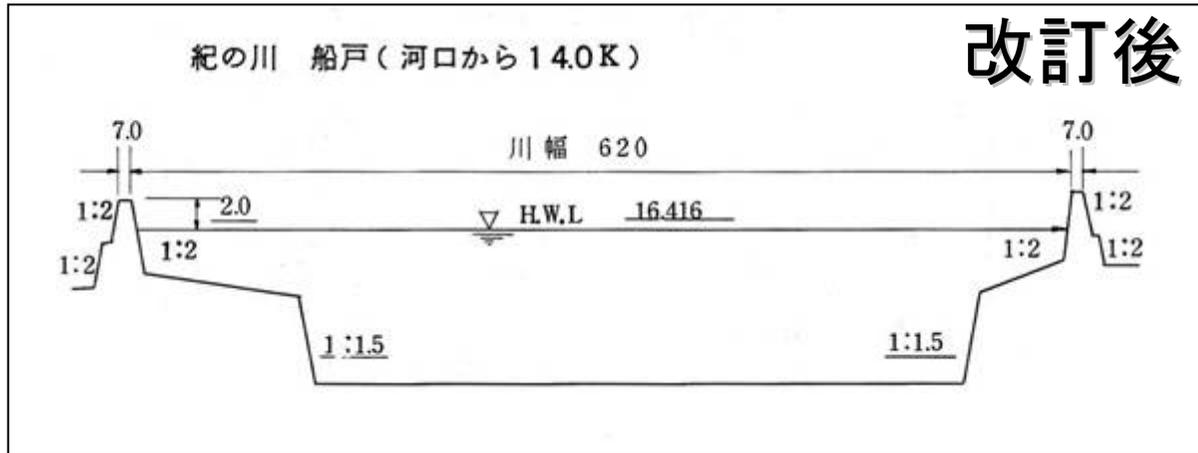
# 流量配分図(新旧対比)



# 主要工事(新旧対比)

改訂後	改訂前
<p>(上流部)</p> <p>奈良県吉野郡川上村に建設する大滝ダム及び<b>上流ダム等の多目的ダム群</b>により…</p> <p>(下流部)</p> <p>岩出から河口までの区間については、掘削、護岸及び<b>井堰の改築等</b>を施工し、洪水の安全な流過をはかるとともに<b>河川環境を改善するため、高水敷の整備</b>を行う。</p> <p>既設の宇治ポンプ場により、紀の川から最大8.0m<sup>3</sup>/secを和歌川へ導入し、<b>和歌川及び和歌山市内河川の浄化</b>をはかるものとする。</p> <p>(貴志川)</p> <p>上流にダムを建設して洪水調節を行い下流の洪水を軽減するとともに、下流については、堤防の拡築及び低水護岸を施工する。</p>	<p>(上流部)</p> <p>奈良県吉野郡川上村に大滝ダムを建設し、…</p> <p>(下流部)</p> <p>岩出から河口までの区間については、低水護岸を施工して、洪水の安全な流過をはかる。</p>

# 船戸断面(新旧対比)

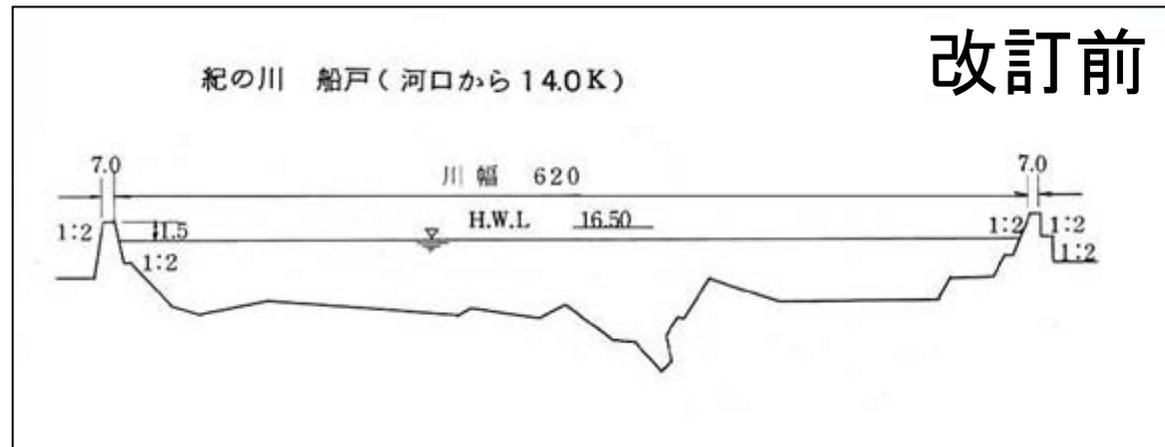


縮尺比率 (縦:横=1:10)

単位 (m)

H.W.L. (計画高水位)

基準面=T. P



# 河川審議会提言（平成8年12月）

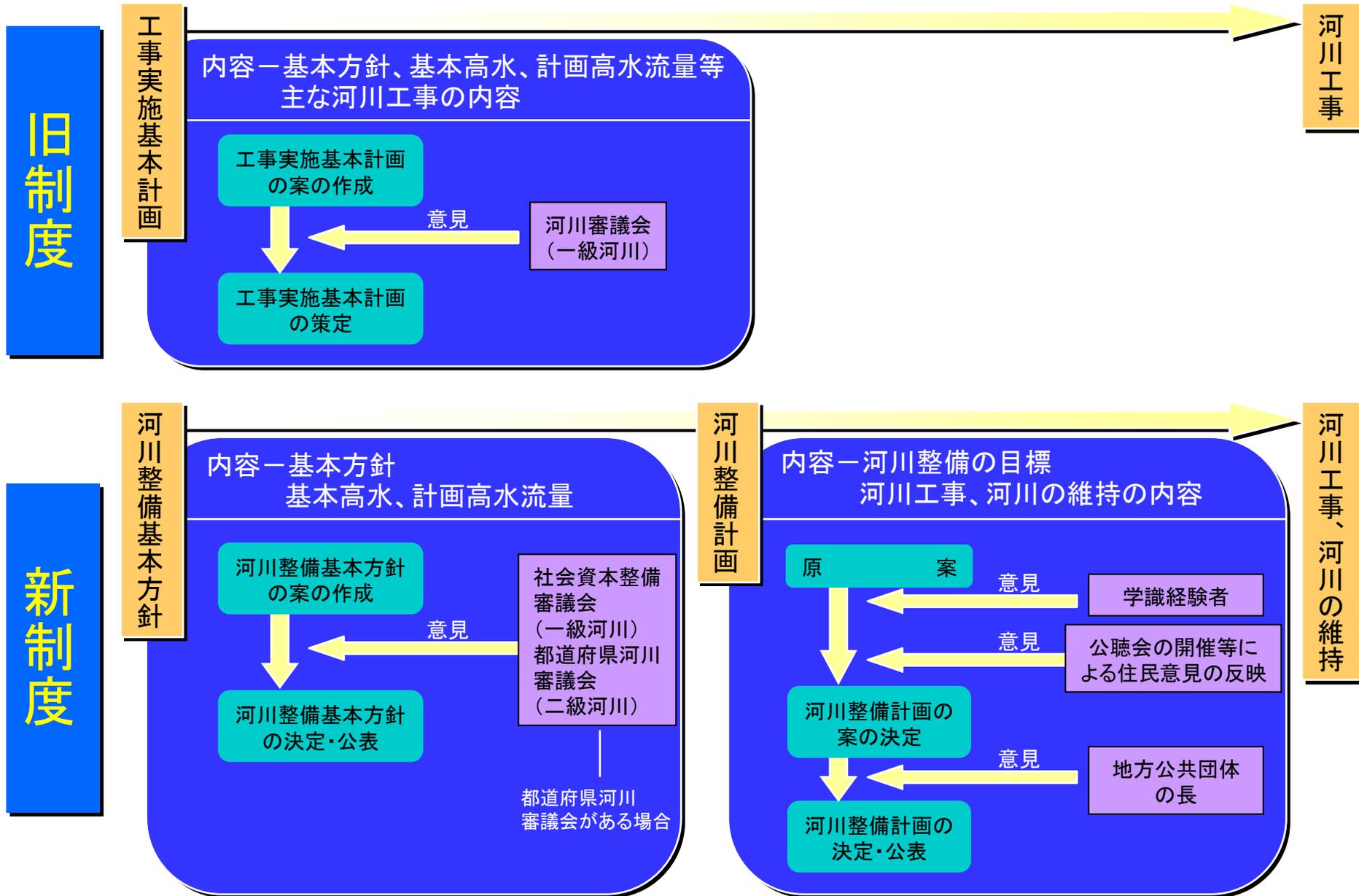
河川環境の整備や保全を求める国民のニーズに的確に応え、また、河川の特性と地域の風土・文化を踏まえて地域の魅力を引き出す河川管理を実施していくためには、河川管理者だけによる河川整備でなく、地域との連携が不可欠である。



現行制度における河川整備の計画とその課題

- ①具体的な河川整備計画の策定
- ②治水、利水及び環境の総合的な河川整備
- ③地域の意向の反映
- ④流域全体の各種施策との連携

# 基本方針・整備計画



# 井堰位置図

紀の川水系に関連する井堰の位置は下図の通りです。



紀の川水系における井堰の位置図

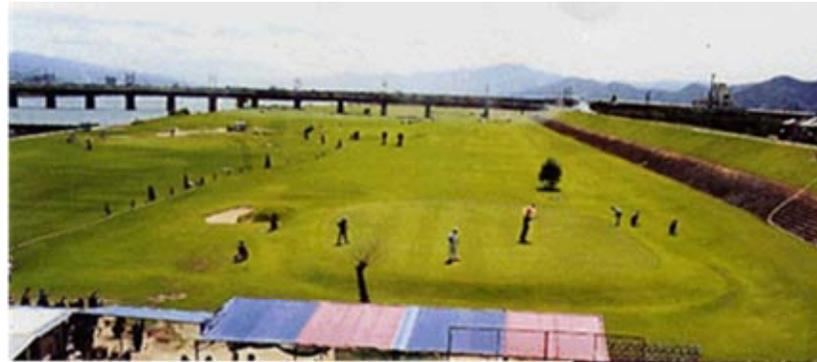
# 新六ヶ井堰

堰高		1.40m
S33.3	完成	
農水	かんがい期	2.64m <sup>3</sup> /S
	非かんがい期	0.20m <sup>3</sup> /S



# 高水敷の利用状況

- 公園
- 緑地
- 運動場
- 田 ・ゴルフ場
- 兼用道路(天端に設置された道路等)
- 牧草の採草 等
- 散策、ジョギング等

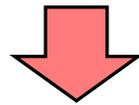


# 水質の浄化

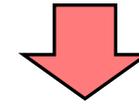
① 昭和53年 市堀川の状況



② 大門川 鈴丸橋から下流  
(昭和53年作成のパンフレットより)



① 現在の市堀川 堀詰橋から上流



② 現在の大門川 伊勢橋から下流